

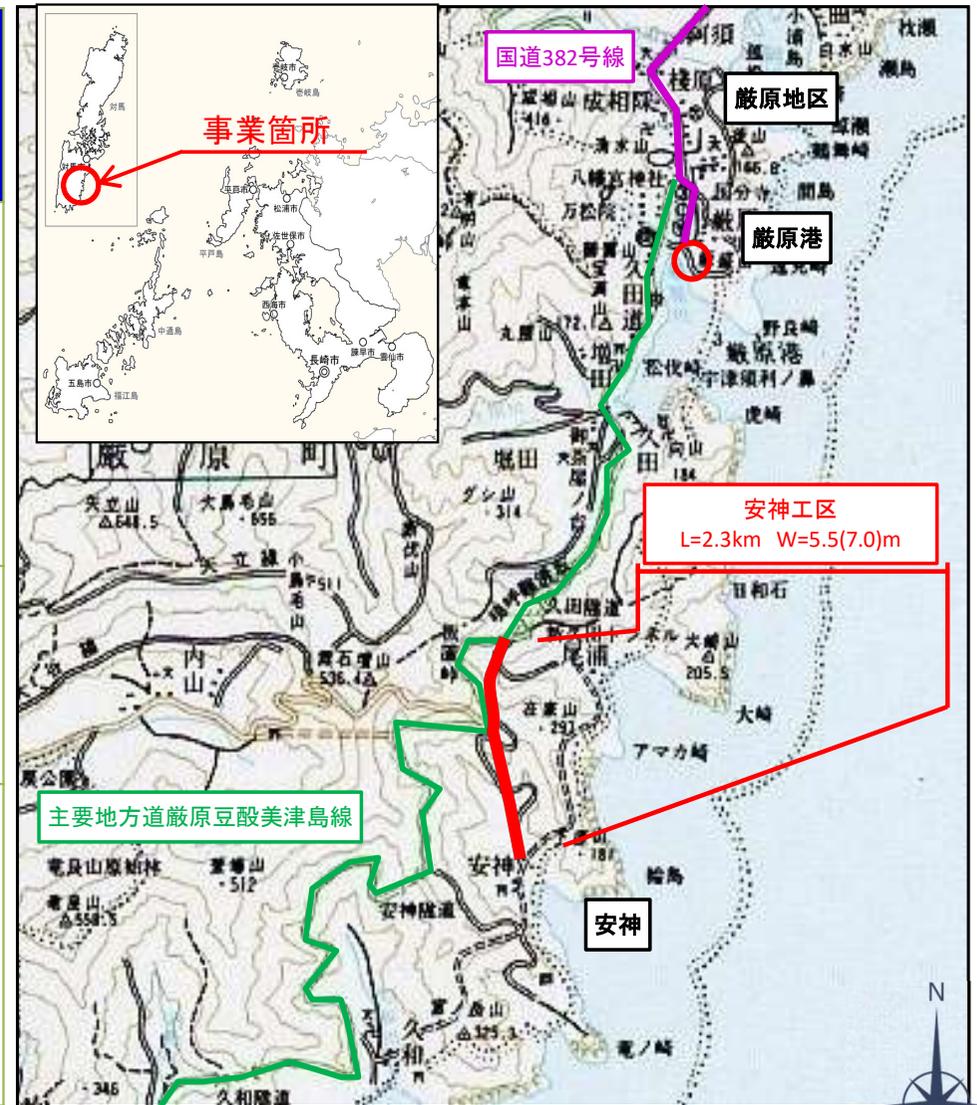
令和7年度 第3回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道維一5
 地方創生道整備推進
 交付金事業
 市道尾浦浅藻線
 あがみ
 (安神工区)

事業主体 対馬市

再評価
 の理由 再評価後変更(事業費・工期)



1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H25新規)		H25	H34	38.0	1.12	【工事概要】 延長2.30km 幅員5.5 (7.0) m (うちトンネル L=1,410m)
第1回審議 (R4年度)	事業採択後 10年経過	H25	R 8	57.1	0.84	【工事概要】 延長2.30km 幅員5.5 (7.0) m (うちトンネル L=1,410m)
第2回審議 (R7年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H25	R 9	68.0	0.80	【変更内容】 事業費 57.1億 → 68.0億 10.9億増 工期 R 8 → R 9 1年延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

事業の目的

・道路交通の円滑化及び安全性向上を図ることで、地域住民の生活利便性の向上、救急医療体制強化の支援及び地域産業や観光振興に寄与する。

事業概要

事業延長 L=2.30km

幅員 W=5.5(7.0)m

全体事業費 68.0億円

計画交通量 516台/日(R22)

これまでの経緯

平成25年度:事業化

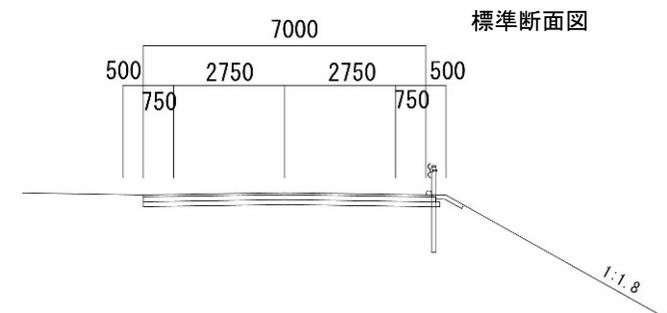
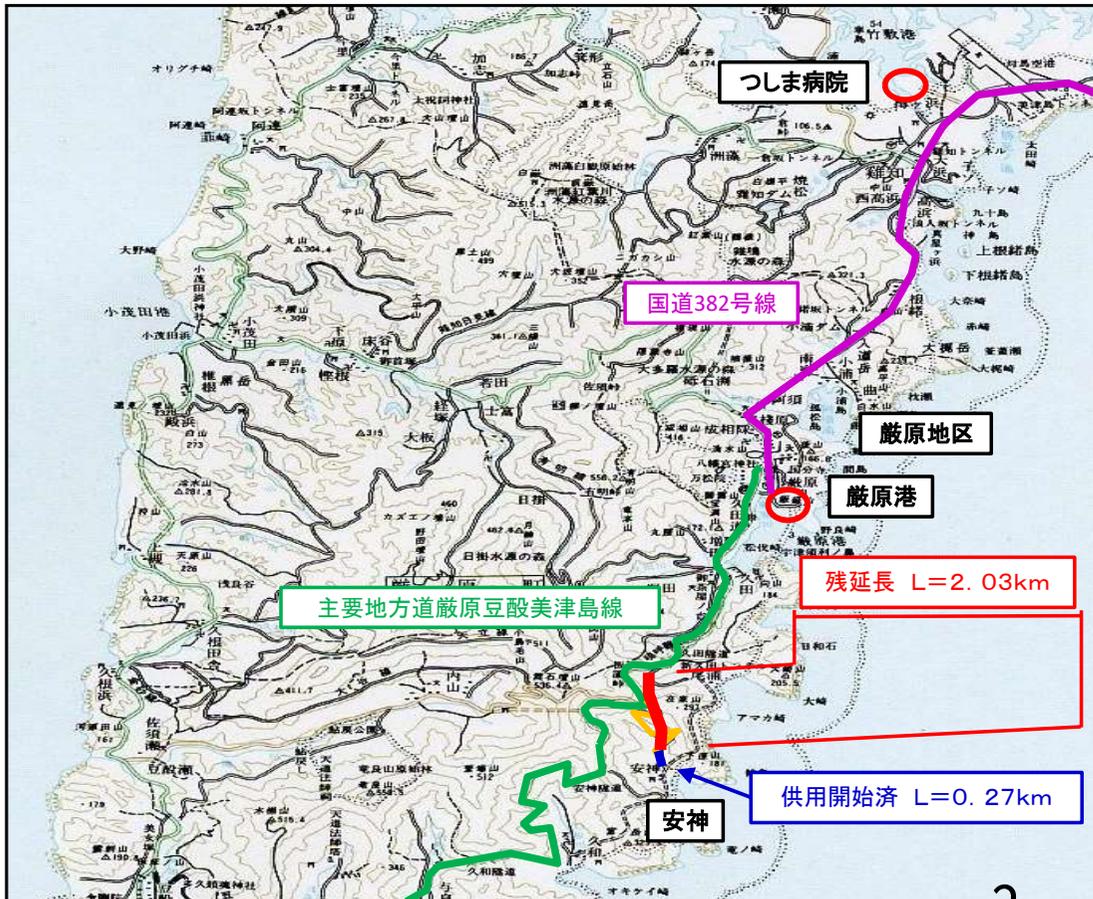
平成25年度:事業着手

令和6年度末時点

270m供用開始

事業進捗率:64.5%(事業費ベース)

用地進捗率:100.0%(面積ベース)



3. 事業の効果・必要性

課題・問題点

・安神地区にとって通勤・通学や買い物、救急搬送など、生活に欠かせない道路であり、当路線は対馬市で唯一のごみ焼却施設の搬入経路でもあるが、幅員が狭く車同士の離合も厳しい状況であるため、交通の円滑化及び安全性向上が求められている。

整備効果

- ・道路整備による安全性向上及び市街地へのアクセス向上
- ・救急車両の搬送時間短縮
- ・地域産業の輸送時間短縮



完成区間: 270m

- ・令和6年度までに供用開始延長 L=270m
- ・2車線の幅員が確保され大型車との離合も可能となり、安全で快適な走行性が確保された。

改良前



改良後



4. 事業の進捗状況

【事業費増】

57.1億円(前回)⇒68.0億円(今回)

事業費増の内容	増額	主な増額理由																																											
1.トンネル工事費の増	約3.6億円	施工実績による増 ①掘削・支保工の工法変更 当初 10.55億 ⇒ 変更後 12.98億 差額 2.43億円																																											
	約7.3億円	②資材・労務費の単価上昇 <table border="1" style="width:100%; text-align:right; font-size:small;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="4">千円</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 7</th> <th>差 額</th> <th>単価上昇率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート類</td> <td>404,971</td> <td>545,603</td> <td>140,632</td> <td>135%</td> </tr> <tr> <td>火薬類</td> <td>267,232</td> <td>300,683</td> <td>33,451</td> <td>113%</td> </tr> <tr> <td>労務費</td> <td>632,652</td> <td>743,519</td> <td>110,867</td> <td>118%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,376,337</td> <td>1,582,787</td> <td>206,450</td> <td>115%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,681,192</td> <td>3,172,592</td> <td>491,400</td> <td>118%</td> </tr> </tbody> </table>						千円					R 4	R 7	差 額	単価上昇率	資材					コンクリート類	404,971	545,603	140,632	135%	火薬類	267,232	300,683	33,451	113%	労務費	632,652	743,519	110,867	118%	その他	1,376,337	1,582,787	206,450	115%	計	2,681,192	3,172,592	491,400
	千円																																												
	R 4	R 7	差 額	単価上昇率																																									
資材																																													
コンクリート類	404,971	545,603	140,632	135%																																									
火薬類	267,232	300,683	33,451	113%																																									
労務費	632,652	743,519	110,867	118%																																									
その他	1,376,337	1,582,787	206,450	115%																																									
計	2,681,192	3,172,592	491,400	118%																																									
計	約10.9億円																																												

【事業期間の延長】

R8(前回)⇒R9(今回)

工期延長

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
工 事															

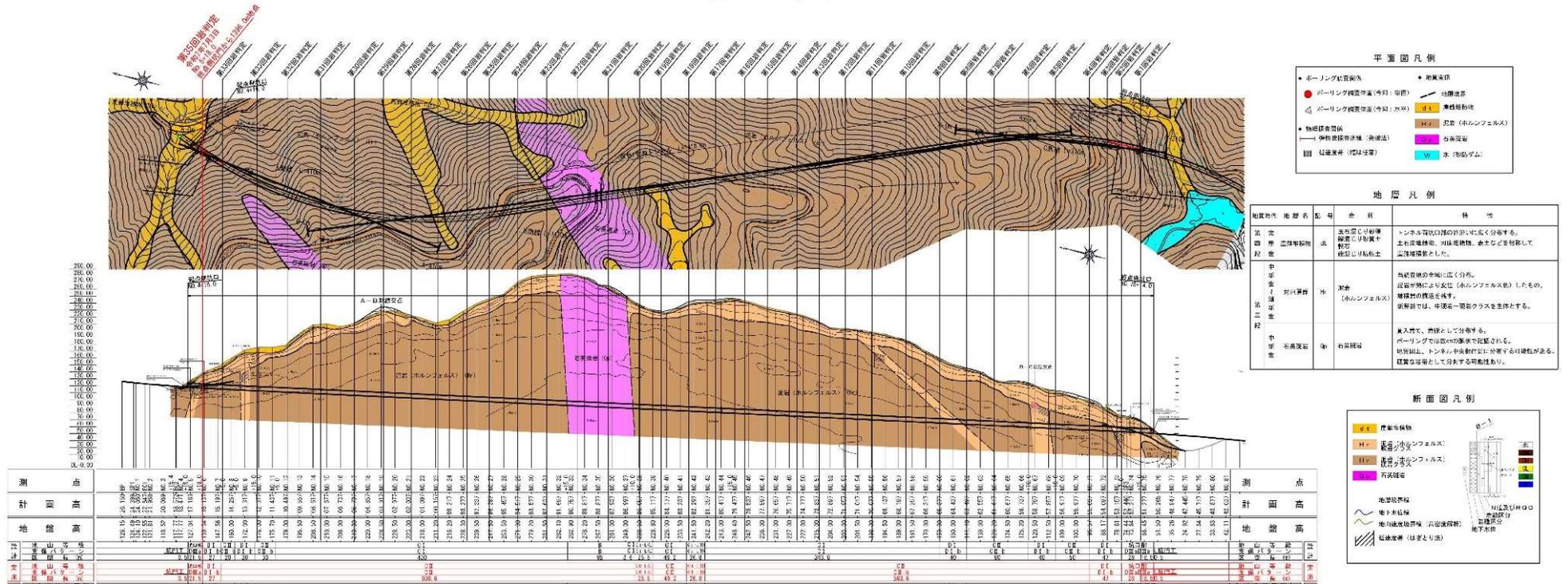
: 変更前

: 変更後

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

掘削・支保工の工法の変更

地質平面縦断面図 S=1:2000



◆掘削(発破工法)において、適切な支保工パターンで施工するために切羽判定委員会を設置し、切羽判定結果により支保工を決定している。その結果Bパターン及びC IパターンがC IIパターンに変更となった。このため、事業費並びに施工日数(サイクルタイム)が増加となった。

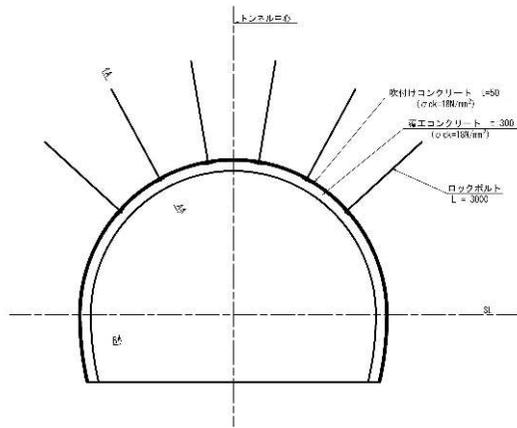
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

支保工構造図

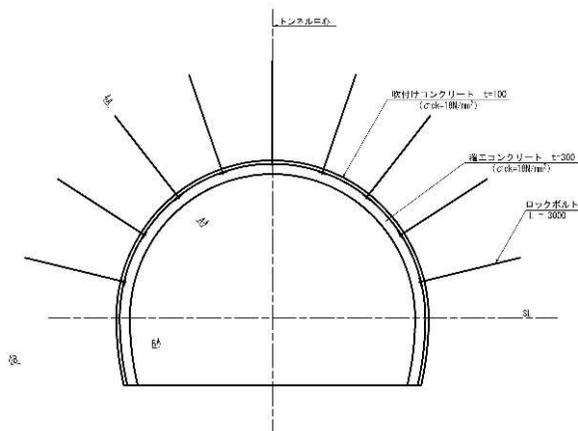
変更前

吹付・ロックボルト工

Bパターン



C Iパターン

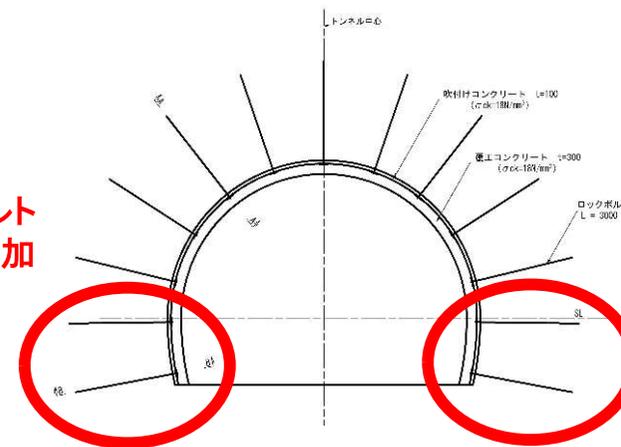


変更後

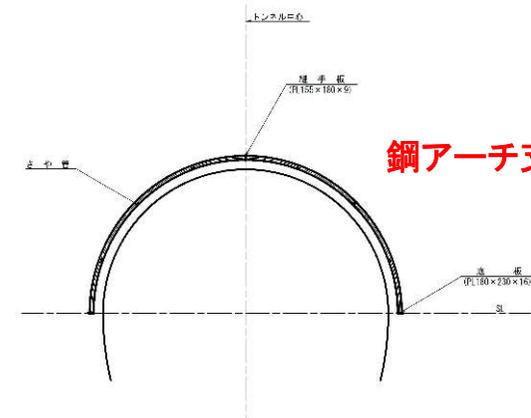
C IIパターン

吹付・ロックボルト工

ロックボルト
本数が増加



鋼アーチ支保工



鋼アーチ支保工が追加

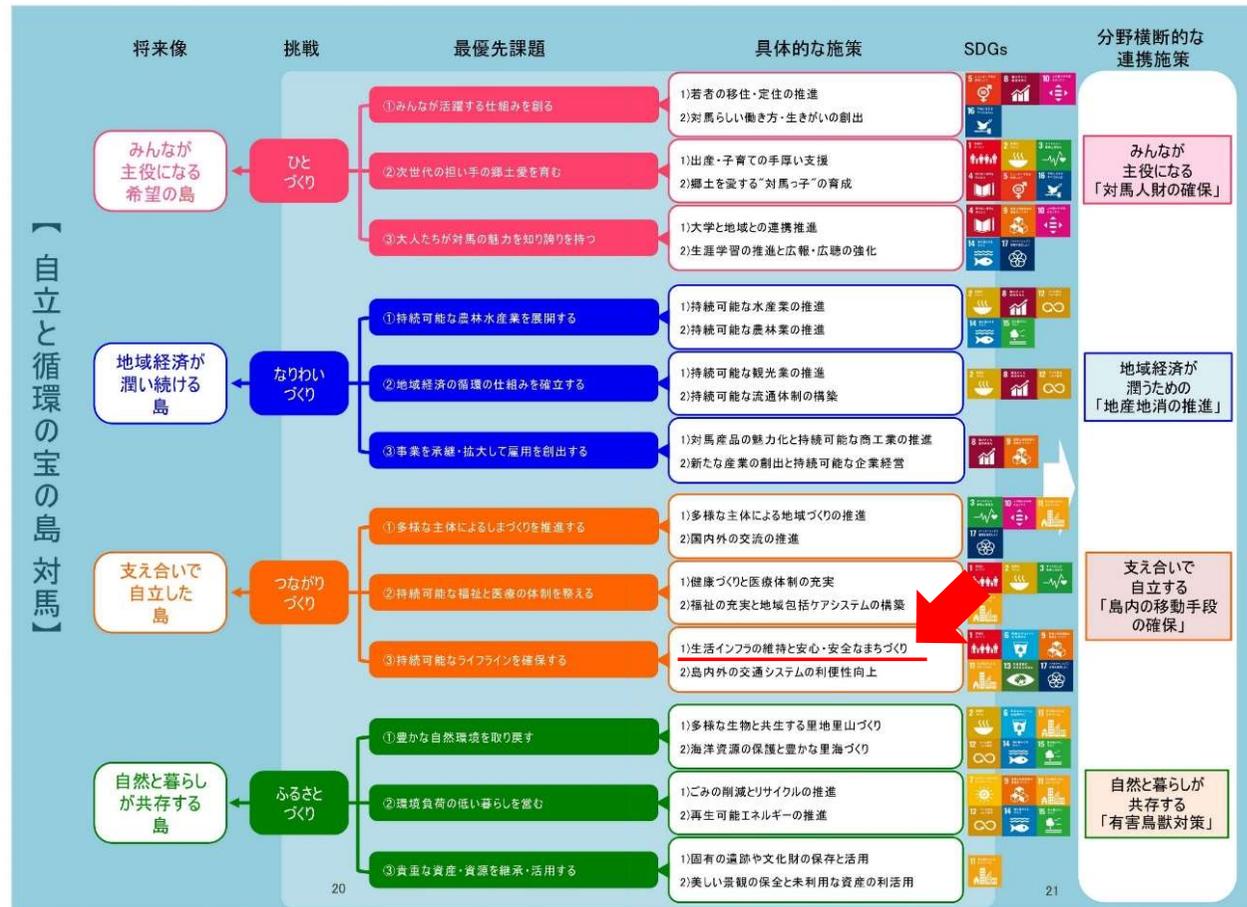
Bパターン、
C Iパターンは
鋼アーチ支保工なし

5. 上位計画への位置付け・関連事業の状況

第2次 対馬市総合計画【後期計画(2021~2025)】における位置付け

対馬市では、市民主体の地域づくり、市民協働のまちづくりを推し進めるため、2016年から10年間の『第2次対馬市総合計画』を策定。後期計画では、前期計画の進捗を評価し、対馬市のあるべき姿(目標)までの道筋を軌道修正し、実行内容を決定。

本事業は、総合計画の『支え合いで自立した島』を目指した具体的な施策として【生活インフラの維持と安心・安全なまちづくり】に位置付けられている。



6. 地元等の意向

◆安神地区に至る現道は、幅員狭小で急勾配であり、急カーブが連続しているため、事故発生の危険性が極めて高い状態であった。

対馬市唯一のごみ焼却施設『対馬クリーンセンター』が平成14年に建設されたことにより、ごみ収集運搬の大型車両が頻繁に通行するようになり、車同士の離合が困難で回避するために後進するなど不便な状況であるとともに、事故発生の危険性はさらに上昇し逼迫状態となっている。

◆対馬市の市道の中でも大型車交通量が最も多い路線となっている。



離合できず後続車もいるため、回避できる場所まで後進している状況

安神地区からの整備要望経緯

平成15年～平成24年

市道尾浦浅藻線の道路改築に関する事業化について地区要望書を毎年受取

平成25年度 事業化決定

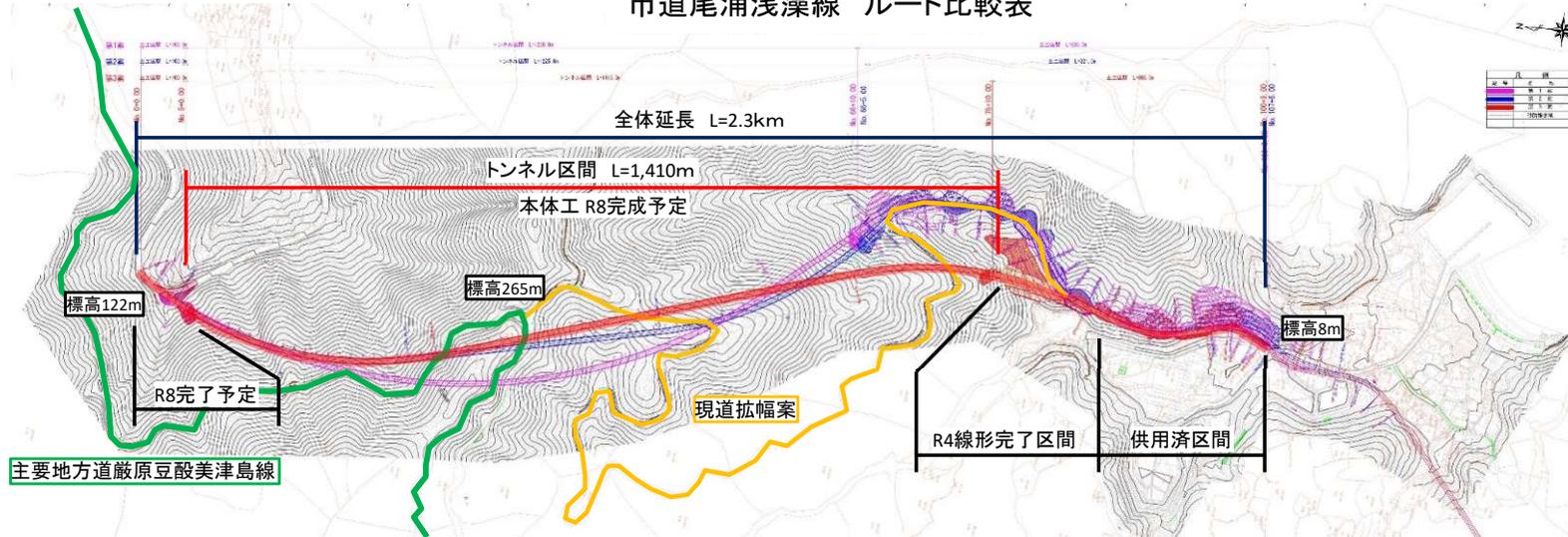
平成25年～令和6年

市道尾浦浅藻線の道路改築事業に関する早期完成について地区要望書を毎年受取

地域住民の長年に渡る強い要望

7. コスト縮減・代替案立案の可能性

市道尾浦浅藻線 ルート比較表



路線概要	第1案 (第1次選定ルート: 第1案+A-1+B-2)				第2案 (第1次選定ルート: 第2案/A-1+A-2)				第3案 (第1次選定ルート: 第3案+B-1+C-2)			
	土工部	橋梁部	トンネル部	合計	土工部	橋梁部	トンネル部	合計	土工部	橋梁部	トンネル部	合計
整備延長	930.0m	0.0m	1230.0m	2160.0m	921.0m	0.0m	1225.0m	2146.0m	599.0m	0.0m	1416.0m	2009.0m
平面線形	43.0%	0.0%	57.0%	100.0%	43.0%	0.0%	57.0%	100.0%	30.0%	0.0%	70.0%	100.0%
縦断線形	Rmin= 60,000 m (TN内注1= 2,900 %)				Rmin= 90,000 m (TN内注1= 3,000 %)				Rmin= 80,000 m (TN内注1= 4,700 %)			
概算事業費	△	総事業費	5,359 百万円 (1,095)	○	総事業費	4,918 百万円 (1,005)	◎	総事業費	4,894 百万円 (1,000)			
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済性では、他案に比して第3案が安価である。 ・ 事業性では、用地取得条件の問題及び取得面積が他案に比して少ない第3案が優位である。 ・ 施工性では、トンネル施工時の安全性及び現道活用区間が短い第3案が優位である。 <p>上記を総合的に評価した場合、経済性・事業性・施工性に優れている第3案が最速ルートと思われる。</p>											
												◎ (採用ルート)

◆これまでもルート比較や可能な限りのコスト縮減は図ってきており、事業延長L=2.3kmのうち、トンネル工事区間がL=1,410mで、安神地区側はトンネル坑口まで令和4年度までに線形完了区間となっており、尾浦地区側も令和6年度から工事に着手しており、令和8年度完成予定である。

また、現道においては、県道の分岐点から地区まで延長L=2.9km、高低差が257mあり、現道拡幅で計画した場合、縦断勾配が急勾配となり道路構造令に沿わない。

以上により、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト縮減や代替案の可能性はない。

8. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和4年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	1.01 = 45.11億円 / 44.63億円	2.48 = 58.63億円 / 23.68億円
全事業	0.84 = 45.11億円 / 53.98億円	0.80 = 58.63億円 / 73.47億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費(工事費、用地費)、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・交通需要推計データの更新

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・事業期間の延長

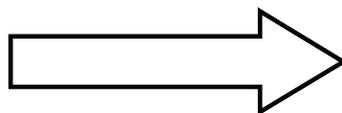
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・医療施設までのアクセス改善(医療施設の搬送支援、搬送時間短縮による救命率の向上)
- ・地域産業の輸送時間の短縮による作業効率や生産性の向上

9. 対応方針(原案)

- ◆道路交通の円滑化及び安全性向上を図ることで、地域住民の生活利便性の向上、救急医療体制強化の支援及び地域産業や観光振興に寄与する。
- ◆事業進捗率は事業費ベースで約64.5%〔43.9億円/68.0億円〕(令和6年度末)であり、用地進捗率は100%となっている。
- ◆近隣住民や対馬市唯一のごみ焼却施設利用者等からの要望も強く、対馬市においても最優先改良区間として位置づけしていることから、期間を延長し事業に取り組みたい。

対応方針
(原案)



継続